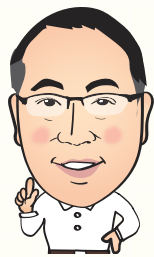


1

健康・福祉 Health & Social Welfare



健康・福祉分野は、市民の皆さんが安心して日常生活を続けていくための基盤であり、福祉は児童、障害者、高齢者が利用し、健康はすべての市民が当事者となる幅広い分野となります。具体的なお困りごとや、解決策も多岐にわたり、そのニーズも社会情勢によって常に変化していきます。市はこれまで、全国的にみても先進的で充実した施策を展開してきており、市民の皆さんからの関心や期待値も高い分野と考えます。そのため、国や東京都などの施策の動向を把握するとともに、できる限り多くの市民の皆さんのご意見を伺えるよう心掛けています。策定に携わるなかで、最も大切に考えたことは、市民一人ひとりの尊厳が守られ、誰もが自ら選択（自己決定）でき、自己実現が図れるような、市における「地域共生社会」を目指すということです。

基本施策

1 まちぐるみの支え合いを実現するための取組み

- 誰もが、より長く心身ともに健康で元気に暮らすことができる社会を目指し、予防的な視点も持つ「健康長寿のまち武蔵野推進月間（9月）」の実施等を通じ、セルフケアの推進を支援します。また、新たに聴こえの問題に関する取組みを検討します。
- 社会参加が健康寿命の延伸につながるという考え方のもと、誰もが地域活動に参加でき、活躍できるような取組みを進めます。またシニア支え合いポイント制度*や、障害のある人の地域生活を支える団体に対する支援等を通じ、互助・共助の取組みを推進し、地域での支え合いを実現します。
- 誰もがいきいきと安心して住み続けられる支え合いのまちを目指し、状況に合った支援が受けられる重層的な支援体制を構築し、地域共生社会の実現に向けた取組みを推進します。

健康長寿のまち
武蔵野推進月間

2 生命と健康を守る地域医療充実への取組みと連携の強化

- かかりつけ医となる診療所や病院などと連携及び情報共有を図りつつ、オンライン診療や情報伝達のデジタル化等、国などが検討している医療DX*の動向も注視しながら地域医療体制を整備します。
- 医療と介護の両方を必要とする高齢者や障害のある人等が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、在宅生活を支えるための医療と介護の連携を推進します。
- 新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえながら、保健センターの増築及び複合施設整備による機能向上等に取り組む、健康危機管理対策の強化を図ります。



医療連携訓練



3 安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実

- 福祉に対するニーズは多様化、複雑化しているため、開設した福祉総合相談窓口を中心に、市民の困りごとに分野横断的に対応できるよう関係機関と連携した包括的な相談支援体制を強化します。
- 認知症の人とその家族を支える取組みを推進します。
- 生活困窮者の自立支援のため、多様な就労支援や若年層等に向けた伴走型支援の強化を図ります。
- 障害のある全ての人々が自分らしい生活を送るための取組みとして、それぞれのライフステージにおいて障害特性に応じた支援を受けられる相談支援体制を構築します。
- 災害時に避難することが困難な人について、地域で見守り、支え合える体制づくりを推進します。

福祉総合相談窓口

障害のある人が
作成に関わった商品

4 福祉人材の確保と育成に向けた取組み

- 地域と連携して新たな担い手を発掘し、福祉活動を担う人材の確保に努め、地域コミュニティの活性化を目指します。
- 誇りとやりがいをもって働き続けるための福祉人材の確保と育成に向けた取組みとして、地域包括ケア人材育成センターの各事業のさらなる充実・連携強化を図ります。
- 次期人材育成基本方針の改訂にあわせ、福祉分野を担う職員の育成について社会福祉士等の資格保有を要件とする市職員（福祉専門職）の採用も含めて検討します。

地域包括ケア
人材育成センター

5 新しい福祉サービスの整備

- 医療や介護等の複合的なニーズに対応し、市民が在宅生活を継続できるようにするため、小規模・多機能・複合型のサービス及び施設について計画的に整備します。
- 高齢者総合センターや障害者福祉センターの、建物改修・改築などを計画的に進めます。

障害者福祉
センター

■用語説明

*シニア支え合いポイント制度：65歳以上の市民が、シニア支え合いサポーターとして指定のボランティア活動に参加した場合にポイントを付与し、年度ごとの獲得ポイントに応じて、寄付やギフト券等を還元する制度。*医療DX：保健・医療・介護の各段階において発生する情報やデータを、全体最適された基盤を通して、保健・医療や介護関係者の業務やシステム、データ保存の外部化・共通化・標準化を図り、国民自身の予防を促進し、より良質な医療やケアを受けられるように、社会や生活の形を変えること。

2 子ども・教育 Children & Education



子ども・教育分野は、子どもの豊かな育ちと教育、妊娠・出産期を含む子育てに関わる分野です。子どもがいまを幸せに生き、未来に向かって育つことは、社会全体の幸せにつながるため、計画案を考える際には「子どもにとってどうか」という視点を大切にしました。策定委員会では、近年の社会状況や中高生世代を含む市民の方の声を踏まえ、医療的ケア児*・ヤングケアラーなどこれまで支援が届いていなかった子どもたちへの支援や特別な配慮が必要な子どもたち・不登校の子どもたちへの支援、中高生世代の居場所づくりなどについて、特に議論を重ねてきました。子どもや保護者、子どもの育ちを直接支えている方たちにはもちろんですが、すべての市民の方に子ども・教育分野に関心をもっていただけたら嬉しいです。



基本施策

1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり

- 子どもの最善の利益を尊重する社会の実現に向け、武蔵野市子どもの権利条例と子どもの権利の周知啓発、いじめ防止対策の充実、子どもの居場所づくりの推進、子どもの意見表明や参加の機会の確保などに取り組みます。
- 保健センター増築及び複合施設整備後の施設内に、児童福祉、母子保健、療育、教育等の相談支援機能を設置し、多部門・多職種が連携します。
- ヤングケアラーなど、ケアを必要とする家庭全体を支援する相談のあり方、18歳以上となったケアラーへの継続的な支援体制を検討します。
- 関係機関の連携を強化し、児童虐待・養育困難家庭に対する支援を充実させます。



Teens ムサカツ 2023 春



2 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援

- 多様な子育て支援ニーズに対応するため、保育施設や幼稚園における一時保育（一時預かり）事業などの拡充を図ります。
- 保育の質のさらなる向上、不適切な保育が起きにくい環境の醸成のため、各保育施設の取組みを総合的に支援し、市全体で保育の水準を高めます。
- 特別な支援を必要とする子どもの保育や、市立保育園における医療的ケア児*の保育体制を整備します。
- 学童クラブの整備を継続するとともに、保護者の多様なニーズに対応できる民間学童クラブの開設支援を進めます。また、第三者評価を活用して質の向上を図ります。
- 0123施設、桜堤児童館については、時代のニーズに合わせた事業を検討・実施していきます。



コミセン親子ひろば

4 子どもの「生きる力」を育む

- 市全体の幼児教育の質の向上を図るとともに、幼児期の豊かな学びが小学校教育に引き継がれるよう、幼稚園、保育園等と小学校の連携を進めます。
- 当事者となる中高生世代など若者の意見を踏まえた多様な居場所づくりを推進します。
- デジタル・シティズンシップ教育に関する実践の蓄積や、子どもの居場所でもある学校図書館の機能の充実を進めます。
- 共生社会の実現に向けて、インクルーシブ教育システムの充実を図ります。医療的ケア児*の支援体制や通常学級に在籍する児童生徒への合理的配慮の提供体制を整備します。
- 不登校児童生徒の教育機会の確保と社会的自立を目指した相談支援の拡充、安心して過ごせる居場所の整備などを進めます。家庭と子どもの支援員*による学校内での支援の充実やICT活用などによる新たな学びの場を検討します。



学校図書館

3 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実

- 武蔵野のまち全体で、あらゆる分野で子どもの視点に立った、子どもと子育てを応援するまちを推進する施策を実施します。
- 保育士等が安心して働き続けられるよう、各保育施設の職員の処遇改善や環境整備を支援します。
- 地域の子育て支援人材の発掘や育成、活動継続の支援を充実させます。



ボランティア養成講座

5 教育環境の充実と学校施設の整備

- 市講師など教育を支える人員体制に関する効果検証やICT化による業務改善等を推進し、教育力の向上を目指します。
- 特色ある教育活動を推進していくために、東京都教育委員会の制度を利用した学校単位での教員公募を実施します。
- 本計画期間中に改築事業が予定される学校については、第二中と第六中との統合の可否とその後の第六中跡地への第二小の移転配置の可能性の有無など、改築期間中も含めて、教育面を第一に様々な観点から課題を検討し、関係者の意見も聞きながら方針を決定して事業を進めます。
- 学校給食費の無償化については、様々な観点からその効果や市独自で行うことの必要性も含めて検討します。
- 持続可能な部活動とするため、学校を中心とした着実な地域連携を図り、合同部活動の設置や部活動指導員の充実などを検討します。



改築後の第五中学校イメージ



用語説明

*医療的ケア児：日常生活及び社会生活を営むために、恒常的に医療的ケア（人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為）を受けることが不可欠である児童。*家庭と子どもの支援員：不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対し、学校の教職員の指導のもと、地域人材や大学生等が登校支援や学校生活の支援等を行っている。令和4（2022）年度から常駐型の家庭と子どもの支援員を配置し、教室以外の居場所で不登校傾向の児童生徒を継続的に支援している。

3

平和・文化・市民生活

Peace, Culture & Civic Life



平和・文化・市民生活分野は非常に多岐にわたっていますが、それぞれのテーマに共通していることは市民の皆さんが安全・安心な生活を営めるまちづくりです。その目標に向けて、これまで積み上げてきた伝統を守り、継承することを基盤とし、時代の変化に合わせた新たな文化の醸成に挑戦することを意識しました。また、第三者的な立場を意識しながらも「これからの武蔵野市がどうあってほしいか」自分ごととして捉えることも心掛けました。社会は、住民一人ひとりの意識とそのつながりで成り立っています。市民の皆さんが市のこれからのあり方を自分ごととして考え、議論を交わし、つながりあっていくことが重要です。そのためには、市民の主体的な活動が活性化すること、その土壌をつくるのが改めて必要だと感じています。

**基本施策****1 多様性を認め合い尊重し合う平和な社会の構築**

- 戦争体験者の記憶や平和への意識を若い世代に引き継ぐ方法や、民間保有の戦争関連資料の保存、デジタルアーカイブ化などについて検討します。
- パートナシップ制度*の利用者が活用できる施策等について、東京都との相互連携を推進すること等により拡充を図ります。
- 武蔵野市多文化共生推進プランに基づき日本人市民も外国人市民も安心して暮らすことができる地域共生社会の形成を推進します。

平和の集い

**2 災害への備えの拡充**

- 無電柱化による減災に向けたまちづくりや河川流域のあらゆる関係者と治水対策を推進します。
- 市が啓発活動、支援等を行う中で伝えたい防災情報が、分かりやすく伝わる広報を検討します。
- 発災時に人的・物的な応援をスムーズに受け入れられるよう、受援マニュアルの実効性を検証し、整備・更新等を行っていきます。
- 災害時要配慮者対策や避難所運営組織・学校との連携による避難所体制の強化等に取り組みます。



防災フェスタ

4 地域社会と市民活動の活性化

武蔵野プレイス市民活動フロア

- 幅広い世代の地域コミュニティへの参加を促進するため、情報発信や人材の確保・育成を支援します。
- コミュニティセンターの魅力や理念を広く発信するとともに、より地域に開かれた誰もが気軽に集える場としていくため、施設運営や環境整備を支援します。
- 第二期武蔵野市市民活動促進基本計画に基づき、市民活動への参加を促進する取組みや市民活動の広報、オンライン活動、多様な主体間の連携・協働等への支援を進めます。

5 豊かで多様な文化の醸成

- 次世代を担う青少年を中心とした相互交流を通じて、多様な文化への理解と地域における多文化共生への理解の促進を図ります。
- 松露庵について、建物の状況を勘察し廃止も視野に入れた検討をします。
- (公財)武蔵野文化生涯学習事業団との事業連携により文化・スポーツ・生涯学習等の市民サービスの向上を目指します。

青少年の海外派遣事業
(ラボック市)**3 安全・安心なまちづくり**

- 市民安全パトロール隊やホワイトイーグルによる日常的なパトロールのほか子どもの登下校時等の見守り活動などの取組みを進め、安全・安心の確保及び体感治安の向上を図ります。
- 警察や防犯協会等と連携し、特殊詐欺防止活動を進めていくとともに、学校等での出前講座などの各種講座の開催、幅広い世代に向けた消費者被害防止の啓発に継続的に取り組んでいきます。

市民安全パトロール隊
による通学路見守り**6 多様な学びや運動・スポーツ活動の推進**

- 社会教育関係団体、武蔵野地域五大学などの学習環境を活用し、誰もが学ぶことを楽しめるよう、学びはじめるの機会や学びをおくりあう機会づくりを推進します。
- 公文書専門員の継続的配置により歴史公文書の適切な管理を行います。また、デジタル化の取組みや情報発信等により歴史公文書の利用促進を図ります。
- 電子書籍サービス等の拡充による利便性の向上や図書館行政を担う職員の専門性向上を図ります。
- 屋外プールの廃止を支持する市民アンケートの結果も考慮し、誰もが利用しやすい屋内プールの充実を検討します。

武蔵野ふるさと歴史館
企画展「水と武蔵野」**7 まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興**

- 「CO+LAB MUSASHINO*」を市の新たなチャレンジ事業として実施し、魅力の創出を図ります。
- インバウンド需要の回復基調を踏まえつつ、新たな需要も捉えた観光推進のあり方を検討します。
- 農地貸借のマッチング支援や農福連携事業、新たな援農ボランティア制度の構築検討などを行い、農業振興や農地保全を図ります。

CO+LAB
MUSASHINO

■用語説明■

* パートナシップ制度：性別等にかかわらず、お互いを人生のパートナーとして、日常生活において、互いに協力し、及び扶助し合うことを約した2人が、安心して暮らし続けられることを目的とした制度。* CO+LAB MUSASHINO (コラボむさしの)：令和4(2022)年度より試行実施している事業者連携事業。市内の事業者同士の連携を創出・促進して、新しい商品や事業を開発するきっかけをつくるためのプラットフォーム。

4

緑・環境

Greenery & Environment



緑・環境分野は、地球規模の環境の変化を的確に捉えながら、市が誇る魅力の1つである緑や水、エネルギーなどの資源を確実に守り、次世代に引き継ぎ、持続可能な環境都市の実現を目指しています。私は野外活動が大好きで、これまでむさしのジャンボリーに約20年間リーダーとして参加してきました。また、開かれた学校づくり協議会の委員や第六期長期計画の策定委員、大学でのレアメタル・リサイクルに関する研究など、さまざまな経験を踏まえ、計画案の作成に取り組んできました。環境問題は、私たち市民一人ひとりの心掛けが大切です。ぜひ未来の武蔵野市に向けて、一緒に行動していきましょう。

基本施策

1 刻々と変化する環境問題への対応

- むさしのエコreゾートが市民参加型施設として広く市民等に認知・活用されるよう効果的な運営方法を検討します。
- 市内の公園緑地の緑を支え、まちの価値を高めてきた緑ボランティア団体については、継続的な活動につながるような支援を進めます。
- 水循環*に関する啓発や雨水浸透施設等の設置支援等を実施し、市民と連携・協力して、健全な水循環*の確保に向けた総合的な取り組みを進めます。

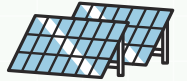


むさしのエコreゾート



ワークショップ(夏版)

2 地球温暖化対策の推進



- 「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向け、市域全体における脱炭素化の機運の醸成や市民・事業者の行動を後押しする効果的な支援策や仕組みづくりを検討・実施します。
- 全ての公共施設で電力の再エネ化に向けた取り組みを進めます。また、再エネ電力の安定調達に向けて、自治体間連携による再エネ電力調達のスキームの構築を検討します。
- エネルギー地産地消プロジェクト事業について、さらなる効率的・効果的なエネルギー利用に向けたマネジメントシステムの運用を進めます。また、公共施設全体の最適なエネルギーの融通に向け、総合的視点から事業の枠組みの見直しを検討します。



ゼロパートナー制度



むさしのエコの実大賞

3 「緑」を基軸としたまちづくりの推進

- 街路樹については、定期的な樹木診断に基づく適切な保全、風水害等に耐えられる樹種に合った剪定を実施します。
- 指定文化財及び登録文化財に指定した保存樹木に対し、助成金の増額や剪定費用の一部補助を実施し、地域の歴史を語り継ぐ緑を保全します。
- 市民が気軽に農に触れる機会を創出し、都市における農地保全を進めます。
- 生物多様性について広く情報発信し、市民の理解や関心を高め、行動につながるような取り組みを行います。
- 住民一人あたりの公園面積の充足に向け、特に駅周辺など商業地域への重点的な整備や既存公園の拡充等を行います。
- 多摩地域の森林の健全育成と市民の自然との触れ合いを促すため、森林環境譲与税の財源活用も含めたカーボン・オフセット*の取り組み等を検討します。



農業ふれあい公園キッズ 野菜栽培体験教室



4 省エネルギー・省資源型の持続可能な都市の構築

- 最適なプラスチックの収集のあり方について専門的な知見を活用して包括的に検討します。
- リチウムイオン電池の適正分別の啓発を行い、対策を強化します。
- 資源物を含めたごみ発生量全体の抑制及びごみ処理の効率化について多角的に検討します。



ごみの収集



5 様々な環境の変化に対応した良好な生活環境の確保

- 国や東京都、開発事業者等が実施する生活環境に大きく影響するおそれがある大規模事業等に対して、周辺環境への配慮や適切な情報提供を求めていきます。
- コロナ禍により、近隣関係との希薄化・孤立化が進み、生活関連公害の相談が大幅に増加したため、お互いへの気遣いや譲り合いといった市民の意識啓発を図るとともに、誰もが地域との顔の見える関係づくりを促します。
- ペットの飼養困難ケースに対応するため、地域における要支援動物の相談支援体制を、動物支援団体と連携して構築します。
- 喫煙マナーの向上を図るための啓発を行うとともに、新たな受動喫煙対策について、まちの美化の観点から関係者、事業者など多様な主体と協働し、検討します。

猫の譲渡会



用語説明

*水循環：水が蒸発、降水、流下または浸透により、海域等に至る過程で、地表水・地下水として河川の流域を中心に循環すること。*カーボン・オフセット：日常生活や経済活動において避けることができないCO2等の温室効果ガスの排出について、できるだけ削減に向けた努力を行い、それでも排出される温室効果ガスを排出量に見合った削減活動に投資すること等により、埋め合わせる考え方。

5

都市基盤

City Infrastructure & Urban Design



都市基盤分野は、地域ごとの特性を生かし、市民が参加することでより魅力的で活気あふれるまちを生み出すこと、地域の暮らしを支える道路や上下水道などの都市基盤の整備・維持・更新を行うことを目的としています。ちなみに、私が市に引っ越してきた約70年前には、三鷹駅から中央通りが舗装されておらず、水道も整備されていませんでした。委員就任前は、現在の都市基盤に何の問題も無いと思えたのですが、委員を経験するといろいろな課題が見えてきました。都市基盤の課題は、他分野との関連が密接なうえ、複雑で長期間にわたるものが多く一筋縄ではいきません。筑波大学で環境デザインを教えていた経験を踏まえ「計画判断の根拠と検討プロセス」を重視し、計画案を作成しました。ぜひ、自分の住む・働く場所以外の空間にも目を向けて、望ましい武蔵野市の景色をイメージしてみてください。

基本施策

1 個性あふれる魅力的な地域のまちづくり

- オープンスペースの利活用を促進するなど、市民等による自発的・自立的なエリアマネジメント活動の展開を支援することで、公共空間の社会的で文化的な価値を創出します。
- 駅周辺について、都市機能を誘導・集積していくための手法の研究を行うとともに、歩行者中心のまちづくりを進めます。
- 武蔵野市景観道路計画に基づき、無電柱化をはじめとした取組みにより、良好な景観形成、都市防災機能の強化、歩行者等の交通環境の向上を図ります。



元町通りテーブル

2 将来にわたり持続性ある都市基盤づくり

- 道路
 - 現状の道路サービスを続けていくため、効率的な維持管理に努めるとともに、市民や企業などが参画できる仕組みづくりに取り組んでいきます。
- 下水道
 - 令和6（2024）年度から長期包括契約方式*を試行導入し、今後増加する下水道施設の維持管理や修繕・改築等を安定的に実施します。
- 水道
 - 将来にわたり安全・安心な水道水を供給していくため、都営水道一元化に向けた取組みを進めます。
 - 有機フッ素化合物*等の水質検査について、国の動向を注視しながら、継続的に実施し、市民に適切な情報発信を行います。
- 建築
 - 民間確認検査機関と連携し、法制度を活用することで市街地の安全性及び質の向上を図ります。



被災建築物応急危険度判定

3 誰もが利用しやすい交通環境の整備

- 歩行者優先の歩いて楽しいまちづくりを実現するため、道路をはじめとして都市公園、建築物や地域公共交通*を含め、全てのの人にやさしいまちづくりを推進します。
- ムーバスの事業展開や料金体系について、今後の市民サービスのあり方、受益者負担や公平性、事業効率性等、様々な視点から検討します。
- 今後設置する公共自転車駐車場について、駅前から一定程度離れた場所に配置するなど、自転車の走行動線及び駅周辺の歩行環境の確保を考慮し、適正な配置を検討します。



ムーバス

4 安全で快適な道路ネットワークの構築

- 生活道路への通過・違反車両の流入に対して、警察等との連携による通学路の危険箇所の点検や地域単位での適切な交通処理を検討し、生活道路の安全性向上を図ります。
- 五日市街道や井ノ頭通り、優先整備路線に位置付けられた女子大通りについては、引き続き東京都に事業化を要請するとともに、影響を受ける沿道市民の生活再建に配慮した対応を求めます。
- 都市高速道路外郭環状線（外環地下本線）は、事業者に対して事業進捗にあわせた適時適切な情報提供を求めるとともに、安全・安心な工事の実施を要請します。
- 外郭環状線の2（地上部街路）は、沿線区市と連携を図りながら、引き続き東京都に丁寧な対応を求めていきます。



生活道路の安全対策（末広通り）

5 安心して心地よく住み続けられる住環境づくり

- 多様化する市民の暮らしへの対応や良質な住まいの確保、安全で魅力あるまちの維持・形成に向け、多様な主体と連携・協働し、住宅関連施策を総合的に進めていきます。
- あんしん住まい推進協議会での協議を踏まえ、賃貸住宅の入居希望者や入居先建物所有者への支援を行い、住宅困窮世帯（者）の居住の安定確保を図ります。
- 市営住宅について、限られたストックを公平に提供できるよう、適切な入居管理を行うとともに、住戸種別や入居年数の運用について検討します。
- 福祉型住宅について、福祉施策との連携を図り、その維持管理の方法について検討します。



市営桜堤住宅

6 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり

- 吉祥寺駅周辺
 - 武蔵野公会堂を含むパークエリアでは、南口駅前広場の整備や交通環境基本方針の策定を進めるとともに、社会実験やオープンハウスを通じた将来のまちづくりへの機運醸成を図り、様々な視点から将来像の立案を目指します。
 - イーストエリアでは、これまでの環境浄化の取組みを踏まえ、民間開発事業の動向を注視します。また、公共自転車駐車場の吉祥寺本町1丁目27番街区への集約化や消防団第2分団詰所の建替え、本町コミュニティセンターの移転に向けた具体的検討等を行います。
- 三鷹駅周辺
 - 交通環境基本方針の策定とともに、駅前広場の拡充については、民間の開発動向を踏まえた事業手法も視野に入れ、多角的な観点から検討します。
 - 玉川上水を生かした緑豊かでのにぎわいの広がる空間の創出やパブリックスペースを利活用したにぎわいづくり等を進めるため、三鷹駅北口街づくりビジョンの改定を行います。
- 武蔵境駅周辺
 - 駅周辺の道路整備に取り組むほか、地域が主体となったまちのにぎわいづくりを継続的に支援し、駅周辺の魅力を向上させるための取組みを進めます。



吉祥寺駅

用語説明

*長期包括契約方式：単年度で個別の業務等を契約するのではなく、複数の業務等を一括して複数年契約する方式のこと。*有機フッ素化合物：独特の性質（水や油をはじく、熱に強い、薬品に強い、光を吸収しない等）を持ち、撥水剤、表面処理剤、乳化剤、消火剤、コーティング剤等に用いられてきた化学物質。*地域公共交通：路線バス、タクシー、コミュニティバス等を指し、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律で定義されている。

6

行財政

Municipal Administration & Finance



行財政分野は、なじみが薄いかもかもしれませんが、全市政の基盤を支える、とても重要なものです。今回、担当委員として、「今後も続く社会経済の変化への対応力の向上」をテーマに取り組みました。具体的には、第一に、市民の皆さんと、市そして市職員との関係をどう発展させていくのか。第二に、市の行政サービスをどのように高度化、効率化していくのか。これには、DXへの対応や、市職員の働きやすい環境づくりも含まれます。最後に、財政の適正管理の仕組みづくりです。今後、公共施設の大規模な更新投資期に入りますし、社会福祉関連での支出増も予想されます。これまでの財政努力の成果もあり、過度な心配は不要ですが、より難しい局面になるのは確かです。市民の皆さんそれぞれにも考えていただくことが、何よりも大事だと思います。引き続きのご協力をお願いします。



基本施策

1 市民参加と連携・協働の推進

- 有識者との論点整理を踏まえ、市民等との熟議・熟慮を重ねながら検討を進め、住民投票条例の制定を目指します。
- 中高生世代など若い世代が自らの目線で情報発信できる手法や、これを市政に反映する仕組み等の研究・検討を進めます。
- 市職員が地域に出向く機会を創出し、市民とともに学び、市民との信頼関係及び相互理解を深め、地域との連携・協働を推進します。



中高生世代と策定委員会の意見交換

2 効果的な広報・広聴の仕組みづくりとシティプロモーション*

- 市民に分かりやすく、適切な方法により親しみやすい情報発信を強化するため、外部人材の知見や技術を積極的に役立てていくことを検討します。
- 市民意識調査と市政アンケートについて、デジタル技術を活用し調査頻度や調査対象を拡充するなど、両者の利点を組み合わせた手法を検討します。
- 市の魅力と都市ブランド（まちの認知度・信頼度）を向上させ、市民が地域に対する愛着と誇りを感じることができるよう取組みを進めます。



季刊むさしの

3 公共施設等の再構築と市有地の有効活用

- 公共施設の複合化・多機能化や、延命化も含めた更新時期等の検討を行いながら、第3期公共施設等総合管理計画の策定を行い、財政負担の軽減・平準化を図ります。
- 旧赤星鉄馬邸など市有財産の利活用にあたっては、市の地域特性などを踏まえつつ、公民連携の視点も持ちながら取り組んでいきます。
- PPPガイドライン*を改定し、市の実情に沿った運用を図っていくとともに、これまでの経験を踏まえ、公民連携の取組み体制を整備、強化していくことを検討します。



旧赤星鉄馬邸

4 社会の変化に対応していく行財政運営

- 次期長期計画策定において新たな行政評価制度（案）を本格実施できるよう完成させます。
- 市税等徴収率の維持・向上や基金と市債の活用など、歳入確保に向けた取組みを行うほか、事務事業の見直しや経常的経費の節減等に取り組みながら、より重要な施策への予算配分を行います。
- デジタル技術の活用により、行政サービスの利便性向上や業務生産性の向上など、全庁横断的なDX推進に取り組めます。
- 地方自治法の改正により努力義務化された内部統制制度の導入について、従前からのリスクマネジメントの取組みとの関係を整理したうえで検討します。
- 行政サービスにおける受益と負担の公平性を維持するため、利用者が負担すべき費用の範囲や新たな課題への対応について、第三者の意見を取り入れるための審議会の設置等を検討します。
- 専門的な公共サービスを機動的かつ安定的に提供する財政援助出資団体と公共課題を連携・協働して解決する観点から、「財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針」を改定します。
- 分野を超えた地域課題の解決に向け、所管の事務分掌にとどまらず、分野横断的に活発な議論を通じて、創意工夫や新たな取組みにつなげます。



5 多様な人材の確保・育成と組織の活性化

- 一般技術職について、近時の採用状況を踏まえ多様な採用手法を検討するほか、福祉職などの専門職については、そのあり方や人材確保の方策を検討します。
- 自治体DX推進に向けた人材育成の取組みを強化するとともに、専門的な知見、技術を有する市民を活用した人材登用について研究します。
- 労働・生活をめぐる環境の多様化を踏まえ、ダイバーシティ*の取組みを推進するとともに、職員間の業務負担の平準化やメンタルヘルスクアの取組みの強化等、職員の働きやすい環境づくりを行います。



職員採用PRリーフレット

■用語説明

*シティプロモーション：地域住民の愛着の形成、地域の売り込みや自治体名の知名度の向上など、自らの地域のイメージを高め、経営資源の獲得を目指すための一連の活動のこと。
 *PPPガイドライン：公民連携（Public Private Partnership）に関する市の基本的な考え方を定めるほか、事業手法を検討する際のプロセス等を示したもの。平成30（2018）年3月に策定。
 *ダイバーシティ：人種、性別、年齢、障害の有無等の多様さを認め合い、それを組織や社会の発展・活性化に生かす取組み・考え方のこと。